

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 長寿齧歯類特有の恒常性維持機構の解明と応用
2. 研究代表者： 三浦 恭子（熊本大学 大学院生命科学研究部 教授）

3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、最長寿齧歯類ハダカデバネズミ特有の長期恒常性維持機構を解明し、ヒトへの応用可能な恒常性維持因子を同定して、加齢性疾患を予防する方法の創出を目的としている。

フェーズ1では、ハダカデバネズミ特有の炎症応答減弱の分子機構の解明、ハダカデバネズミ特有の異常細胞の除去に関わる現象・機構の探索などに取り組み、成果を上げている。

フェーズ2では、長寿マウス種間比較によるハダカデバネズミ特有の炎症応答減弱機構の解明、アデノ随伴ウイルスを用いた遺伝子導入による異常細胞の除去機構の解明を計画している。炎症応答の減弱や異常細胞除去と長寿との関連について詳細な解析を行い、更なる成果を期待する。

以上